

ストックヤードで工事の発生土を有効活用

～公共工事の円滑な促進とリサイクル社会への貢献～

そもそも **ストックヤード**って何!?



土掘るぞー!!



答えは「土を置く場所」 工事で発生する土を一時的に保管する土地等を**ストックヤード**と呼んでいます！茨城県では、公共工事から発生する建設発生土のリサイクルを促進するため、県内のストックヤードを利用して他の工事へ有効利用しています。

ストックヤードには、**仮置き型**と**受入地型**の2種類があり、建設発生土の利活用に大きく貢献しています！

仮置き型ストックヤード

工事の時期が合わないなど、発生土を工事間で流用できない場合、ストックヤードへ一時的に仮置きするもの。

土が余っている工事

仮置き型ストックヤード

土が不足している工事



建設発生土の搬入と搬出!



受け入れて完了!

受入地型ストックヤード

工業団地などの造成事業に土が必要な場合、広範囲から建設発生土を受入れて、搬出は行わないもの。

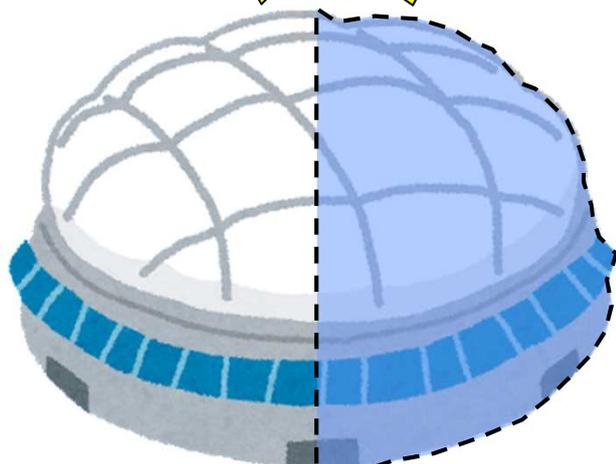
受入地型ストックヤード

受入れて完了!



県内のストックヤードにおいて、建設発生土の搬出入は**年間約60万m³**のやりとり!

換算すると・・・
東京ドームの約半分!



ストックヤード活用によって...

土の購入・処分費用が**大幅減!**

土の移動は非常に大変! そんな時は・・・**茨城県建設発生土情報検索システム**を活用!

今までは・・・

土を出したい!!



掘削現場 = 土を出す工事

近くの工事に搬出したいけど工事の情報が少なすぎる!

工事A

工事B

工事C

システム活用により、**工事情報を共有し調整がスムーズに!!**

工事情報をシステムに登録♪



工事情報の共有で、**連絡がスムーズ!!**

土を出したい!!

土が欲しい!!



掘削現場 = 土を出す工事



土を出す工事と、もらう工事をシステムを使ってマッチング♥



盛土現場 = 土をもらう工事